

- ・酒井 洋 樹
- ・片岡 啓 治
- ・緑川 千 茂
- ・高山 仲 昌
- ・高山 山 弘
- ・田島 美 智
- ・高瀬 陽 一
- ・小村 秀 美
- ・中村 永 次
- ・東 間 正 臣
- ・柴 崎 勝
- ・小 泉

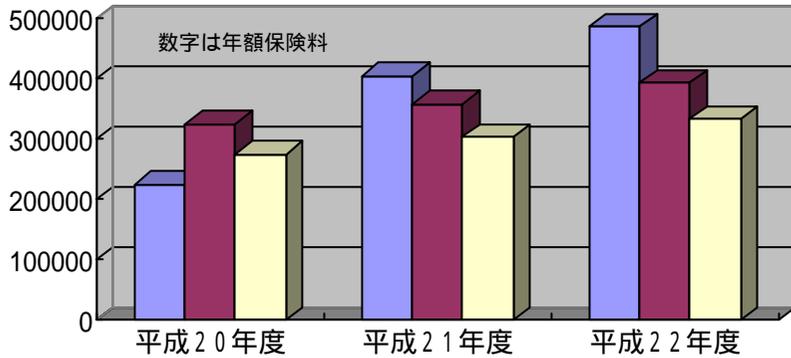
当選直後に国保税を値上げ!!

「村長、公約違反です!」

共産党もビックリ!

H20年度値上げしなければ、21年度以降は25%、20%の順次大幅値上げが見込まれていました。今回、議会の7.7%値上げの可決により、急激な値上げがおさえられました。

■ H20年度値上げなかった場合
 ■ H20年度14.7%値上げの場合
 □ H20年度7.7%値上げの場合



上のグラフでは、村長が公約にした20年度「値上げなし」を実行していたら、平成21年度には一挙に2倍程度に国保税の値上げがされていたことを示しています。「低所得者への急激な負担増とならないよう値上げはしない」という村長の公約と現実の矛盾点が浮き彫りになりました。

国保税は村長がこれまで必要な値上げをせず、4年間で3億円の基金を使い果たしてしまい、3月議会で「どうしても14.7%値上げさせて欲しい」と提案し議決されたにもかかわらず、選挙直前の6月議会では一転して「法定外繰り入れしても国保税は値上げしない」と提案し、問題となっていました。

議会では財源根拠と計画性が不明瞭として否決した後、急を要する問題であり早急に臨時議会を招集するよう議会終了直後に要求しましたが、村長は議会招集権を乱用して選挙前に臨時議会を招集しませんでした。

そして、「国保税は値上げしない」と公約して当選した村長ですが、選挙3日後に招集された臨時議会では「法定外繰り入れはやめた。やはり国保税は値上げする。もし、議会が否決すれば納付書の発行は間に合わなくなる」として公約を撤回、議会は十分な審議が出来ない状況に追い込まれ、やむを得ず選択肢のない可決をせざるを得ませんでした。

選挙戦略とはいえ、二転三転する提案に議会は翻弄され、その代償を住民が払うことになっってしまったのです。

あなたはどお思いますか？